

令和2年度福祉・介護人材確保対策実態調査

記入日 _____ 月 _____ 日

問1 貴事業所の法人格（経営主体）はどれですか。該当するものを○で囲んでください。（以下同じ。）

- ① 市町村
- ② 社会福祉協議会
- ③ 社会福祉協議会以外の社会福祉法人
- ④ 医療法人
- ⑤ 民間企業（個人・株式会社等）
- ⑥ NPO（特定非営利活動法人）
- ⑦ 社団法人・財団法人
- ⑧ 協同組合（農協・生協）
- ⑨ その他（ _____ ）

問2 貴事業所が属する法人について記入ください。

（1）貴事業所が属する法人では、貴事業所以外に別の指定事業所がありますか。

- ① ある ② ない

（2）（1）で「ある」場合、法人全体の職員数は何人ですか。

- ① 10人未満
- ② 10人以上19人以下
- ③ 20人以上49人以下
- ④ 50人以上99人以下
- ⑤ 100人以上299人以下
- ⑥ 300人以上

（3）（1）で「ある」場合、法人内の事業所間、あるいはサービスの種類を超えた職員の異動がありますか。

- ① ある ② ない

問3 貴事業所の全職員数は何人ですか。また、そのうち指定サービス事業に従事する者（R2.7.1現在）は何人ですか。それぞれ人数を記入してください。

- ・全職員数 _____ 人
- ・うち指定サービス事業に従事する職員数 _____ 人

問4 貴事業所で指定サービス事業に従事する職員について記入ください。

（1）就業形態

- ・正規職員数 _____ 人 ・非正規職員数 _____ 人

（2）男女比

- ・男性（正職員 _____ 人 非正規職員 _____ 人）
- ・女性（正職員 _____ 人 非正規職員 _____ 人）

問5 貴事業所の採用者と離職者について記入ください。

(1) 貴事業所の指定サービス事業に従事する職員において過去1年間（H31.4.1～R2.3.31）の採用者数、離職者数を記入ください。

・採用者数 人 ・離職者数 人

(2) 過去1年間で離職した者のうち、勤務年数が「1年未満の者」及び「1年以上3年未満の者」の人数は何人でしたか。

・1年未満の者 人 ・1年以上3年未満の者 人

問6 貴事業所では、過去1年間に採用した職員の質をどのように評価していますか。

- ① 満足している。
- ② 満足していない。
- ③ どちらとも言えない。

問7 貴事業所の給与について記入ください。

(1) 現在就労中の正職員の本年6月に支給した1人当たりの平均月給を記入ください。
また、該当の人数を記入ください。

| | 1人当たり平均金額（円） | 該当人数（人） |
|------------|--------------|---------|
| 新規採用者（初任給） | 円 | 人 |
| 3年目職員 | 円 | 人 |
| 5年目職員 | 円 | 人 |
| 10年目職員 | 円 | 人 |

※ 平均金額は、本年月に実際に支給した税込金額（賞与は除く、残業・休日出勤手当・交通費・役職手当等、毎月決まって支給される金額）

(2) 非正規職員の給与について、それぞれの支払い状態に応じて該当するものに記入ください。
(本年6月に支給した状況に基づき記入)

| | 1人当たり平均金額（円） | 該当人数（人） |
|-------------|--------------|---------|
| ① 時給 | 円 | 人 |
| ② 日給の場合その平均 | 円 | 人 |
| ③ 月給の場合その平均 | 円 | 人 |

問8 資格取得・研修について記入ください。

(1) 無資格者や他の資格を取ろうとしている職員に対して資格取得の支援を行っていますか。
(複数回答)

- ① 資格取得に関する活動を職務扱い（出張扱い）にしている。
- ② 資格取得の経費を全額出している。
- ③ 資格取得の経費の一部を出している。
- ④ 研修の開催を知らせているが、経費負担はしていない。
- ⑤ その他（ ）
- ⑥ 特に行っていない。

(2) 資格取得の支援を行ううえで問題となることはありますか。

- ① 研修等を受講する場合の代替職員の確保

- ② 資格取得の経費の負担
- ③ 職員が資格を取得しても処遇に反映できない。
- ④ その他 ()
- ⑤ 特に問題はない。

(3) 業務に関連する研修に参加しようとする職員に対して支援を行っていますか。(複数回答)

- ① 研修への参加を職務扱い(出張扱い)にしている。
- ② 研修参加の経費を全額出している。
- ③ 研修参加の経費の一部を出している。
- ④ 研修の開催を知らせているが、経費負担はしていない。
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 特に行っていない。

(4) 職員の研修参加の支援を行ううえで問題となることはありますか。(複数回答)

- ① 研修等を受講する場合の代替職員の確保
- ② 職員が研修に参加しても研修の効果がわからない。
- ③ 研修参加のための経費の負担
- ④ その他 ()
- ⑤ 特に問題はない。

問9 職員の職種別過不足の状況はどうか。

(1) 正職員

| | | | | |
|-----------|------|--------|------|---------|
| サービス提供責任者 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 介護支援専門員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 社会福祉士等専門職 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 看護職員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 生活相談員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 介護職員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 訪問介護職員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| PT・OT・ST | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| その他 () | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |

(2) 非正規職員

| | | | | |
|-----------|------|--------|------|---------|
| サービス提供責任者 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 介護支援専門員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 社会福祉士等専門職 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 看護職員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 生活相談員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 介護職員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| 訪問介護職員 | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| PT・OT・ST | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |
| その他 () | ① 適当 | ② やや不足 | ③ 不足 | ④ 大いに不足 |

(3) (1) (2) で「やや不足」～「大いに不足」と回答した理由はなんですか。(複数回答)

- ① 採用が困難である。
- ② 離職率が高い。
- ③ 事業を拡大したいが人材が確保できない。
- ④ その他 ()

(4) (3) で「採用が困難」と回答した理由を記入ください。

(5) 貴事業所で今後3年間に採用したいと考えている職員数を職種別に記入ください。

| 職種 | | 正規職員 | 非正規職員 |
|--------------|-----------------|------|-------|
| 医師 | | 人 | 人 |
| 看護師 | | 人 | 人 |
| 准看護師 | | 人 | 人 |
| 理学療法士 | | 人 | 人 |
| 作業療法士 | | 人 | 人 |
| 言語聴覚士 | | 人 | 人 |
| 介護支援専門員 | | 人 | 人 |
| 計画作成担当者 | | 人 | 人 |
| 生活相談員・支援相談員 | | 人 | 人 |
| 再掲 | 社会福祉士 | 人 | 人 |
| | 精神保健福祉士 | 人 | 人 |
| 介護職員 (訪問介護員) | | 人 | 人 |
| 再掲 | 介護職員初任者研修課程修了者 | 人 | 人 |
| | 介護福祉士養成実務者研修修了者 | 人 | 人 |
| | 介護福祉士 | 人 | 人 |
| | 認定介護福祉士 | 人 | 人 |
| 障害者生活支援員 | | 人 | 人 |
| 管理栄養士 | | 人 | 人 |
| 栄養士 | | 人 | 人 |
| 歯科衛生士 | | 人 | 人 |
| 調理員 | | 人 | 人 |
| その他の職員 | | 人 | 人 |

問10 職員の定着率についてどう考えていますか。

- ① 定着率が低く困っている。
- ② 定着率は低いが、困っていない。
- ③ 定着率は低くない。

問 1 1 当初は臨時職員や非常勤職員として採用し、資格をとれば正規職員に登用する制度等がありますか。

- ① ある ② ない

問 1 2 指定サービス事業を運営するうえでの問題点はどれですか。(複数回答3つ以内)

- ① 今の介護報酬では、人材の確保・定着のための十分な賃金は払えない。
② 良質な人材の確保が難しい。
③ 指定サービス提供に関する書類作成が煩雑で時間に追われている。
④ 教育・研修の時間が十分にとれない。
⑤ 経営(収支)が芳しくなく、労働条件や労働環境改善をしたくともできない。
⑥ 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している。
⑦ 新規利用者の確保が難しい。
⑧ 介護従事者の介護業務に望む意欲や姿勢に問題がある。
⑨ 利用者や利用者の家族のサービスに対する理解が不足している。
⑩ 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している。
⑪ 介護従事者間のコミュニケーションが不足している。
⑫ 介護保険(障がい福祉)制度の改正等についての的確な情報や説明が得られない。
⑬ 雇用管理等についての情報や指導が不足している。

問 1 3 平成30、31年度の介護報酬改定に伴い、経営面でどのような対応をしましたか。(複数回答)

- ① 一時金の支給
② 諸手当の導入・引き上げ
③ 基本給の引き上げ
④ 仕事上のコミュニケーションの充実
⑤ 職員の増員による業務負担軽減
⑥ 非正規職員から正規職員への登用
⑦ 教育研修の充実
⑧ 出産・子育て支援の充実
⑨ 腰痛対策やメンタルケアを含めた健康管理の充実
⑩ 仕事内容や労働条件に関する個別面談の実施
⑪ 事故やトラブルの対応体制の強化
⑫ 介護支援の充実
⑬ 昇進・昇格要件の明確化
⑭ 労働時間(夜勤含む)・労働日数の適正化
⑮ その他()
⑯ 特に対応していない。

問 1 4 職員の早期離職防止や定着促進を図る方策について記入ください。

(1) どのような方策をとっていますか。(複数回答)

- ① 賃金・労働時間等の労働条件(休暇をとりやすくすることを含む)を改善している。
② キャリアに応じた給与体系を整備している。
③ 昇任・昇給の制度を設けている。
④ 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映している。

- ⑤ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている。
- ⑥ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している。
- ⑦ 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている。
- ⑧ 仕事内容の希望を聞いている（持ち場の異動など）
- ⑨ 能力開発を充実させている（社内研修の実施・社外講習会の受講・支援等）。
- ⑩ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている。
- ⑪ 子育て支援を行っている（子ども預かり所の設置や保育費の支援などの充実）。
- ⑫ 経営者・管理者と職員は経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている。
- ⑬ 職場内の仕事上のコミュニケーション円滑化を図る。（定期的な会議、意見交換会、チームケア等）
- ⑭ 職場環境を整えている（休憩室、談話室、入社時に座れる椅子の確保等）。
- ⑮ 福利厚生を充実、職場内の交流を深める（カラオケ、ボウリング等同好会、親睦会の充実）。
- ⑯ 健康対策や健康管理に力を入れている。
- ⑰ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス）。
- ⑱ 離職理由を分析し、早期離職防止や定着促進のための方策に役立っている。
- ⑲ その他（ ）
- ⑳ 特に方策はとっていない。

問15 職員に対して早期離職防止や定着促進にもっとも効果があった方策はどれですか。

(1) 正規職員の場合（複数回答）

- ① 賃金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることを含む）を改善している。
- ② キャリアに応じた給与体系を整備している。
- ③ 昇任・昇給の制度を設けている。
- ④ 能力や仕事を評価し、配置や処遇に反映している。
- ⑤ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている。
- ⑥ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している。
- ⑦ 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている。
- ⑧ 仕事内容の希望を聞いている（持ち場の異動など）
- ⑨ 能力開発を充実させている（社内研修の実施・社外講習会の受講・支援等）。
- ⑩ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている。
- ⑪ 子育て支援を行っている（子ども預かり所の設置や保育費の支援などの充実）。
- ⑫ 経営者・管理者と職員は経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている。
- ⑬ 職場内の仕事上のコミュニケーション円滑化を図る。（定期的な会議、意見交換会、チームケア等）
- ⑭ 職場環境を整えている（休憩室、談話室、入社時に座れる椅子の確保等）。
- ⑮ 福利厚生を充実、職場内の交流を深める（カラオケ、ボウリング等同好会、親睦会の充実）。
- ⑯ 健康対策や健康管理に力を入れている。
- ⑰ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス）。
- ⑱ 離職理由を分析し、早期離職防止や定着促進のための方策に役立っている。
- ⑲ その他（ ）
- ⑳ 特に方策はとっていない。

(2) 非正規職員の場合（複数回答）

- ① 賃金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることを含む）を改善している。
- ② キャリアに応じた給与体系を整備している。
- ③ 昇任・昇給の制度を設けている。
- ④ 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している。
- ⑤ 非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている。
- ⑥ 職員の仕事内容と必要な能力等を明示している。
- ⑦ 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている。
- ⑧ 仕事内容の希望を聞いている（持ち場の異動など）
- ⑨ 能力開発を充実させている（社内研修の実施・社外講習会の受講・支援等）。
- ⑩ 新人の指導担当・アドバイザーを置いている。
- ⑪ 子育て支援を行っている（子ども預かり所の設置や保育費の支援などの充実）。
- ⑫ 経営者・管理者と職員は経営方針、ケア方針を共有する機会を設けている。
- ⑬ 職場内の仕事上のコミュニケーション円滑化を図る。
（定期的な会議、意見交換会、チームケア等）
- ⑭ 職場環境を整えている（休憩室、談話室、入社時に座れる椅子の確保等）。
- ⑮ 福利厚生を充実、職場内の交流を深める（カラオケ、ボウリング等同好会、親睦会の充実）。
- ⑯ 健康対策や健康管理に力を入れている。
- ⑰ 悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている（メンタルヘルス）。
- ⑱ 離職理由を分析し、早期離職防止や定着促進のための方策に役立っている。
- ⑲ その他（ ）
- ⑳ 特に方策はとっていない。

問16 人材育成について記入ください。

(1) 人材育成の取り組みは、同業他社と比べ充実していると思いますか。

- ① 充実している。
- ② やや充実している。
- ③ 同じ程度
- ④ やや劣る。
- ⑤ 劣る。

(2) 人材育成のために行っている取り組みのすべてに○を記入ください。（複数回答）

- ① 教育研修計画を立てている。
- ② 教育・研修の担当者、若しくは担当部署を設けている。
- ③ 採用時の教育・研修を充実させている。
- ④ 職員に後輩の指導をさせている。
- ⑤ 能力の向上が認められた者は、配置や処遇に反映している。
- ⑥ 法人全体で連携して育成に取り組んでいる。
- ⑦ 自治体や業界団体が主催する教育・研修には積極的に参加させるようにしている。
- ⑧ 地域の同業他社と協力し、ノウハウを共有して育成に取り組んでいる。
- ⑨ その他（ ）
- ⑩ いずれも行っていない。

問17 教育・研修について記入ください。

(1) 採用時に次のような教育・研修を行っていますか。

(自社・他社の研修機関等の利用は問いません。複数回答)

- ① 介護技術・知識
- ② 接遇・マナー
- ③ 法人・事業所の経営理念・ケア方針
- ④ 感染症予防対策
- ⑤ 問題解決・苦情処理の手順
- ⑥ 職員の腰痛予防対策
- ⑦ 安全対策 (事故時の応急措置等)
- ⑧ 職員間の人間関係の構築
- ⑨ その他 ()
- ⑩ いずれも行っていない。

(2) OJT (仕事を通じた能力開発や上司や先輩による指導) をどのような方法で行っていますか。

(複数回答)

- ① 部下指導を管理職 (リーダーや主任等を含む) の役割としている。
- ② 管理職以外の指導担当者をつけている。
- ③ 経験・能力のある人と一緒に仕事をさせている。
- ④ 指導方法をマニュアル化している。
- ⑤ 育成を考えて仕事を与えている。
- ⑥ 業務マニュアルを作成している。
- ⑦ その他 ()
- ⑧ いずれも行っていない。

(3) 過去1年間に職員に対してどのような教育・研修を行いましたか。

(自社・他社の研修機関等の利用は問いません。複数回答)

- ① 介護技術・知識
- ② 介護保険制度 (障がい福祉制度) や関係法令
- ③ 安全対策 (事故時の応急措置等)
- ④ 接遇・マナー
- ⑤ 情報共有、記録・報告の方法
- ⑥ コンプライアンス・プライバシー保護
- ⑦ 事例検討
- ⑧ 資格取得のための研修
- ⑨ その他 ()
- ⑩ いずれも行っていない。

問18 貴事業所では、職員確保に向けてどのような取組をしていますか。実施している項目及び効果があると認識している項目の欄に○を付けてください。(複数回答)

- ① 職員の採用・確保に向けた取組・工夫を行っている
- ② 特に取組・工夫は行っていない。

①を○で囲んだ場合は以下について回答ください。

| | | 実施している | 効果がある |
|-----------------|-------------------------------|--------|-------|
| PR | 法人・事業所のホームページで個性をアピールしている | | |
| | ソーシャルメディア（ブログなど）を活用している | | |
| | 新聞、チラシ、広報誌などで求人広告を行っている。 | | |
| 学校・地域との交流、ロコミ拡大 | 中高生の職場体験や見学会を実施している | | |
| | 地域の集会所等の利用に施設を開放している | | |
| | 地域行事に事業所として参加している | | |
| | 福祉系養成校の実習を積極的に受け入れている | | |
| | 職員による紹介謝礼金制度を導入している | | |
| 対象者の拡大 | 未経験・無資格者の採用も積極的に行っている | | |
| | 一般大学・高校にも訪問して求人活動を行っている | | |
| | 高齢者採用を進めている | | |
| | 障がい者採用を進めている | | |
| | 外国人研修生など外国人の採用を進めている | | |
| 勤務形態の工夫 | 元職員（結婚、出産、育児、介護ほかで退職）に声掛けしている | | |
| | 若年無業者の採用を進めている | | |
| | 夜勤専従職員を採用している | | |
| | 短時間・仕事の範囲限定など求職者の希望を聞いている | | |
| その他 | 職員の定年延長や再任用を進めている | | |
| | 法人独自に養成校の学生などに奨学金を設けている。 | | |
| | | | |
| | | | |

※その他の取組があれば記入ください。

問19 北空知管内の研修事業について記入ください。

(1) 北空知管内では、介護人材の養成や職員の資質向上、多職種連携によるチーム支援の向上を目指し、関係団体で各種研修事業を行っています。知っていますか。

| 関係団体の研修事業 | 知っている | 知らない |
|--|-------|------|
| 北空知地域医療介護確保推進協議会（多職種連携、入退院支援、認知症ケア、地域リハビリ、住民フォーラムなどの講演会、研修会） | | |
| 北空知介護支援専門員連絡協議会（講演会、研修会） | | |
| 深川医師会（学術講演会、公開講座、暮らしの医学公開講座（出前）） | | |
| 深川市認知症ケア研究会（講演会、研修会） | | |
| 北空知自立支援協議会（相談支援、就労支援、発達支援などの講演会、研修会） | | |
| 深川市介護職員養成研修支援事業（介護職員初任者研修の受講料を助成） | | |
| 沼田町介護人材バンク事業（介護職員初任者研修費用助成） | | |
| 沼田町介護アドバイザー招聘事業（介護講演会・町内福祉施設への指導等） | | |

(2) 貴事業所で下記研修事業を利用(参加)したことがありますか。

| 関係団体の研修事業 | ある | ない |
|--|----|----|
| 北空知地域医療介護確保推進協議会(多職種連携、入退院支援、認知症ケア、地域リハビリ、住民フォーラムなどの講演会、研修会) | | |
| 北空知介護支援専門員連絡協議会(講演会、研修会) | | |
| 深川医師会(学術講演会、公開講座、暮らしの医学公開講座(出前)) | | |
| 深川市認知症ケア研究会(講演会、研修会) | | |
| 北空知自立支援協議会(相談支援、就労支援、発達支援などの講演会、研修会) | | |
| 深川市介護職員養成研修支援事業(介護職員初任者研修の受講料を助成) | | |
| 沼田町介護人材バンク事業(介護職員初任者研修費用助成) | | |
| 沼田町介護アドバイザー招聘事業(介護講演会・町内福祉施設への指導等) | | |

(3) あると回答した事業所では、今後も(1)の研修事業の利用を希望しますか。

- ① 希望する ② 希望しない ③ 分からない

(4) ないと回答した事業所は、利用しなかった理由を記入ください。

(5) 研修内容等について、希望等があれば記入ください。

**問20 この度の新型コロナウイルスで困ったことは何ですか。該当するものを○で囲んでください。
(複数回答)**

- ①マスク、消毒液などの備品購入
- ②感染防止対策の知識・ノウハウ不足
- ③職員シフトのやり繰り
- ④面会制限の緩和や解除の判断
- ⑤その他

問2 1 新型コロナウイルス感染症対策で、事業所間や、医療、関係機関間での連携・協力体制について、何か要望・意見等があれば記入ください。

※問2 2の質問は、令和2年7月22日付けの深川市高齢者支援課の調査と同じものですので、回答済みの事業所は記入不要です。

問2 2 介護ロボット（移乗・移動支援、見守りセンサーなど）やICTなどの活用について、ご回答ください。（いずれか1つに○）

(1) 介護ロボットやICTなどの導入は考えていますか？

- ・導入する予定がある・・・・・・・・・・(2) の設問へ
- ・導入しない・・・・・・・・・・(4) の設問へ
- ・将来的に導入を考えている・・・・・・・・(2) の設問へ
- ・既に導入している・・・・・・・・・・(2) の設問へ

(2) 介護ロボットやICTなどを活用する主な理由は何ですか？（複数回答可）

- ・職員の身体的負担の軽減
- ・職員の精神的負担の軽減
- ・事務的業務の軽減
- ・利用者の安全確保のため
- ・上記以外（ ）

(3) どのようなシステムの導入を検討（利用）していますか？（複数回答可）

- ・身守り支援などのセンサー機器（機器名： ）
- ・職員の身体的な介護負担を軽減させる機器（機器名： ）
- ・事務軽減（ケアなどの記録軽減負担）などの機器（機器名： ）
- ・職員間の意思疎通や2人介助の必要とする際などの通信機器（機器名： ）
- ・上記以外（機器名 ）

(4) 導入しない理由は何ですか？（複数回答可）

- ・導入後もコストがかかるため
- ・介護ロボットやICTに頼らなくても問題無いから
- ・導入したいシステムは購入費が高いから
- ・介護ロボットやICTを使用するのに不安があるから
（理由 ）
- ・上記以外（理由 ）

問23 人材確保について、事業所所在市町や北空知の広域連携で取り組んでほしいことなどがありましたら記入ください。

問24 その他、福祉・介護現場の状況や要望など、ご意見等がありましたら記入ください。

質問は以上となります。ご協力たいへんありがとうございました。

北空知地域医療介護確保推進協議会